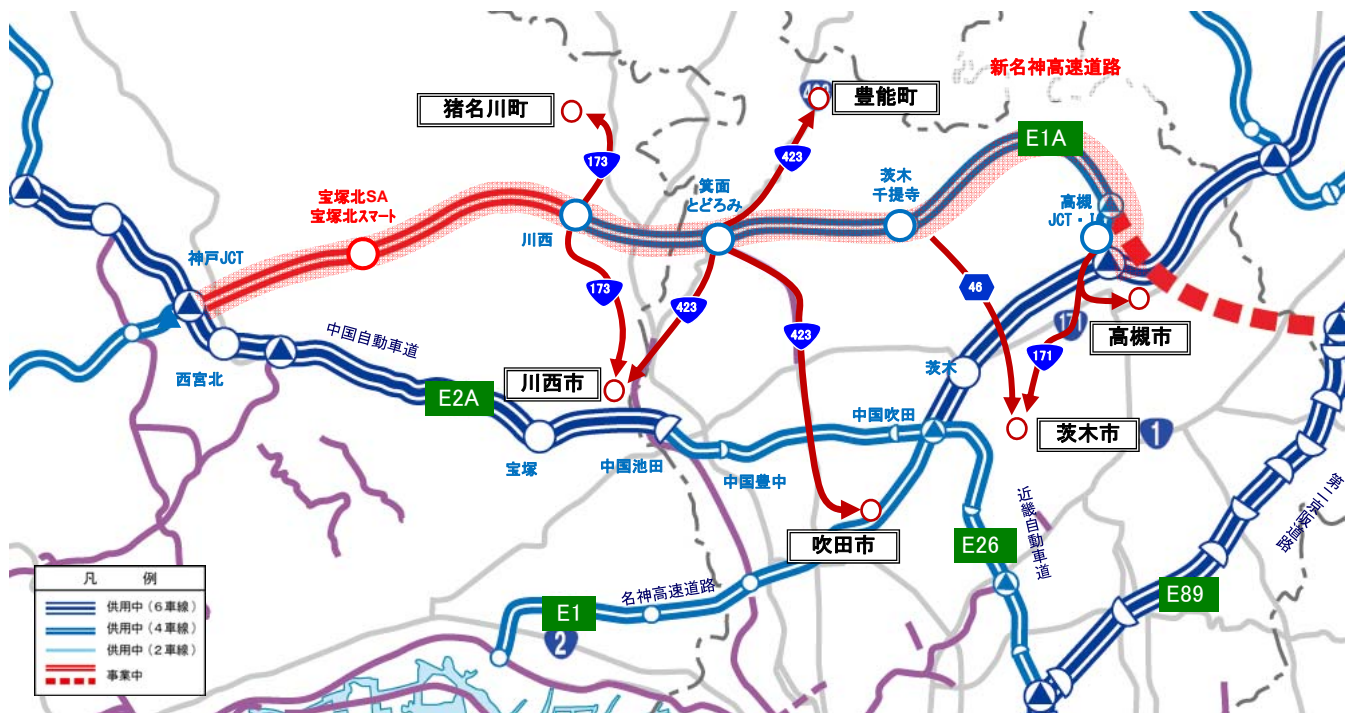


災害時のリダンダンシーの確保 別紙6

～緊急輸送や復旧活動に寄与～

- ・ 新名神高速道路の整備により、国土軸のダブルネットワークが形成され、災害時のリスク分散が可能となります。
- ・ 名神高速道路や中国自動車道が被災を受けた場合においても、新名神高速道路から一般道路を利用して沿線地域への緊急輸送や復旧活動に寄与します。



阪神・淡路大震災時には長期間にわたり大動脈が機能停止状態となり、緊急輸送や復旧活動が困難となる状況が見受けられました。

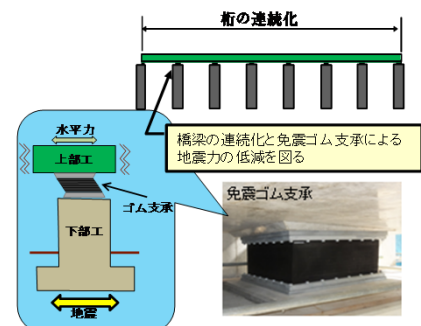
新名神高速道路では落橋しにくい構造として橋梁の連続化と免震ゴム支承による地震力の低減を図っています。



E2A中国自動車道 宝塚高架橋



E1名神高速道路 瓦木西高架橋



【特色】

免震ゴム支承は、ゴム支承本体の水平剛性を利用した地震力を遮断する機能とエネルギー吸収性能による減衰機能で地震力を低減する機能を有しています。

阪神・淡路大震災時の被災状況

- E1名神高速道路 : 橋梁上部工の損傷、落橋(139橋)
橋梁下部工の損傷(686基)
- E2A中国自動車道 : 橋梁上部工の損傷、落橋(65橋)
橋梁下部工の損傷(529基)